

80年代のネオアコ・ブームを牽引してきた Cherry Red Records の名作をシリーズで復刻！

第一弾は Everything But The Girl、Ben Watt、Tracey Thorn の3作品を11月22日にリリース決定

PRESS RELEASE

タワーレコード株式会社（本店所在地：東京都渋谷区 代表取締役社長：嶺脇 育夫 以下タワーレコード）では、この度、80年代のネオアコ・ブームを牽引し、日本では渋谷系アーティストにも多大な影響を与えてきた英国のレーベル「Cherry Red Records（チェリーレッド・レコーズ）」と日本国内における製造・販売における契約を締結、国内プレス盤としてレーベルが保有する名盤をシリーズで復刻し、当社卸部を通じて全国流通させていくことになりました。

その第一弾として、まさしくネオアコ・ブームの火付け役となった **Everything But The Girl（エブリシング・バット・ザ・ガール）** のデビュー作「**EDEN（エデン）**」※1984年作品 を、そして、2人のメンバーが結成以前にリリースしたソロ作品、**Ben Watt「North Marine Drive（ノース・マリン・ドライブ）」** ※1983年作品 と **Tracey Thorn「A Distant Shore（遠い渚～ディスタント・ショア）」** ※1982年作品 の3作品を、Ben Watt によるアートワークから歌詞まで細部に渡る監修の下、11月22日（水）紙ジャケット仕様・SHM-CD盤にてリリースします（各2,500円※税別）。

タワーレコードでは、リリースから30年以上経過しても色褪せる事の無い彼らの作品を中心に、今後もCherry Red Records（チェリーレッド・レコーズ）およびその傘下となっているレーベルの作品を再発してまいります。



左より Everything But The Girl「EDEN」、Ben Watt「North Marine Drive」、Tracey Thorn「A Distant Shore」

※作品ならびにレーベルの詳細は次ページ以降を御参照ください。

本件に関するお問合せ先
タワーレコード株式会社広報室 谷河（やがわ）、伊早坂、松本
TEL：03-4332-0705 Email：press@tower.co.jp

■ 11月22日（水）発売作品概要

本3作品の英語歌詞はベン・ワットから新たに提供されたものを使用しており、対訳も修正がなされています。またベン・ワットは本3作品のアートワーク（レーベル、帯等）の監修も行っています。

アーティスト : **Everything But The Girl**
タイトル : **EDEN**
発売日 : 2017年11月22日(水)
価格 : 2,500円(税別)
レーベル : Cherry Red Records
品番 : TRPD-0001
販売元 : タワーレコード



—作品紹介—

1984年5月に発表された彼らの記念すべきデビュー・アルバム。ジャズやボサノバの影響を取り入れた優美なサウンドは、ポスト・パンクの時代にネオ・アコースティック・ムーブメントという新たな潮流を生み出すとともに、80年代を席卷したフェメール・ポップ・ボーカリスト・ブームの先鞭をつけることにもなった。全英28位を記録したスマッシュ・ヒット「イチ&エブリワン」を始め、珠玉の名曲を収録した永遠の名盤。(文：山田順一)

アーティスト : **Ben Watt**
タイトル : **North Marine Drive**
発売日 : 2017年11月22日(水)
価格 : 2,500円(税別)
レーベル : Cherry Red Records
品番 : TRPD-0002
販売元 : タワーレコード



—作品紹介—

エブリシング・バット・ザ・ガールとして成功を収める前の1983年に発表された彼のソロ・デビュー・アルバムは、UKインディーズ・チャートで見事1位を獲得。アコースティック・ギターを奏でるワットとサキソフォニストのピーター・キングが織りなす、シンプルかつ透明感溢れる世界観が限りなく美しい傑作。ボーナス・トラックとしてロバート・ワイアットと共演したEP「Summer Into Winter」の5曲を追加。(文：山田順一)

アーティスト : **Tracey Thorn**
タイトル : **A Distant Shore (遠い渚〜ディスタント・ショア)**
発売日 : 2017年11月22日(水)
価格 : 2,500円(税別)
レーベル : Cherry Red Records
品番 : TRPD-0003
販売元 : タワーレコード



—作品紹介—

エブリシング・バット・ザ・ガールとして本格的な活動が始める前の1982年に発表された彼女のソロ・デビュー・アルバム。このときの彼女にしか生み出せないピュアで繊細な心情が刻まれた不屈の名作。唯一のカバーとなるベルベット・アンダーグラウンドの「ファム・ファタル〜宿命の女」にも新たな息吹が宿っている。EBTGのデビュー・シングルから「ナイト&デイ」と「オン・マイ・マインド」をボーナス・トラックとして追加。(文：山田順一)

■ Cherry Red Records/チェリーレッド・レコーズ

1971年からイベント・プロモーションを行っていたイアン・マクネイが、78年にロンドンでインディペンデント・レーベルとしてスタートさせた。名前の由来はブルース・バンドのグラウンドホッグスの曲目から。第1弾としてタイトのシングルをリリースしたあとは、デッド・ケネディーズやエブリシング・バット・ザ・ガール、モノクローム・セット、フェルトら新進気鋭のアーティストを多数輩出し、ニューウェイブ/ネオ・アコースティック・ムーブメントを牽引するなど革新的なレーベルとして多くの支持を集めた。サッカーとの関わりも深く、近年では新譜にだけに止まらず、リイシュー作品も積極的に手がけるなど幅広い活動を行なっている。(文：山田順一)

■ Everything But The Girl/エブリシング・バット・ザ・ガール

学生ながらそれぞれ独自の活動を行っていたベン・ワットとトレイシー・ソーンによって1982年に結成されたポップ・ユニット。その名前は、ふたりが通っていたハル大学の近くにあったターナーズ・ファニチャーという家具屋の宣伝文句の“女の子以外は何でも売っています”からとられている。全英14位を記録した84年のデビュー作『エデン』はネオアコ・ブームの先駆けとして人気を博し、その後は映画音楽、AOR、エレクトロニック。ミュージックなどさまざまな音楽性を取り入れながら活動を続けた。94年には「ミッシング」が全英3位/全英2位と世界的に大ヒット。99年の活動休止まで11枚のオリジナル・アルバムを発表している。(文：山田順一)

■今後のリリース予定

【12月20日リリース予定】

Everything But The Girl / Language of Life (1990年リリース)
Everything But The Girl / Love not Money (1985年リリース)
Marine Girls / Lazy Ways (1983年リリース)

【1月 リリース予定 ※日程未定】

Weekend / LaVariate (1982年リリース)
Blue Rondo A La Turk / Chewing the Fat (1982年リリース)
Hurrah! / The Sound of Philadelphia (1993年リリース)